

就任のあいさつ

新町長 浅妻 茂一郎



本年は珍しい暖冬異変と言う、全く積雪のない正月から現在に至っております。しかも、新元号も平成元年と決まり、そんな中にかつてない本町の明暗を分ける厳しい黒埼町長選挙の結果、町民各位の格別なるご理解とご協力を賜り、二月五日当選させていただき、明治三十四年五ヶ村合併以来歴代二十一代目、町制施行後五代目の黒埼町長として二月十三日就任致しました。

省みれば四年前一たび足を洗いわらじを脱いだ私でありましたが、再度わらじをはくことになりました。この感激を忘れることなく、わらじの紐をしつかりとゆわい直し決意を新たにして全力投球で頑張る所存であります。ついては変わらぬご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

そして若きと行動力の青木太一郎前町長さんの一期四年間の努力に対し深い敬意を表すると同時に、それに負けない町行財政運営を推進し、町民の望むクリーンな町民本位の行政を実施してまいりたいと思っております。

時恰も平成元年を迎え、国ではふるさと創生、地方では県始め町村でも村起こし事業の絶好のチャンスでなかろうかと考えるところであります。本町では言う迄もなく県と市町村で行う観光物産センターの建設が始まり、平成三年四月オープンの予定、年間百二十万人の観光客が訪れる最も集客効果の大きいふるさと村、物産センター構想に呼応して、町おこし関連の企業を誘致し同時に史跡、観光開発事業、地下資源開発事業を推進いたします。

「ふるさと」とは昔から言われておるところの山青き水清きところと言われており、同時に子供達がそして若者がどこにいても忘れることができないで、人生の試練に出会った時に心の中によりみがある、なつかしい自然、教育文化そして自分達を育ててくれた人々の顔とそこから生まれる生き抜く力をふるさとと言うのではないのでしょうか？

私はそのような認識に立って観光物産センターを県内観光の一大拠点として、県全域の物産を觀賞できる町造りを核として、ウォーターフロント構想の実現に努力したいと考えております。理由としてはこの地先は信濃川、中ノ口川、大通り川の合流地点に位置し東に越後連山、西に黎峯、弥彦、角田山を眺め面積一〇ヘクタール余の中州を持ち、更にその地続きに大野小唄にも古くから知られているワシノ木の桜公園と正に風光明媚な自然環境を兼ね備えて居るところであります。

そこで、私は桜の觀賞をしたり、色々の魚つり場としての自然を残し太公望としての人生意気に感ずる生きがい対策、ミニゴルフ、野球、テニス、ゲートボール場等運動公園としての舟遊びまたは県庁或るいは新潟市へ用たしに出かける交通緩和対策、一方信濃川左岸の河川環境整備事業を継続して、新潟市及び県庁迄のサイクリング道路の設置等一大公園リクレーションセンターとしてのウォーターフロント構想の実現に努力致す所存であります。

又、人口増に伴う行政需要の増大、例えば学校問題、道路・下排水・生活環境の整備、文化施設等、事業が山積してま

います。それに対し財政力の増大を図らなければなりません。したがって、土地区画整理事業の推進を図り、公害のない企業誘致と高級文化住宅の建設、地元業者の育成と入札指名の適正化を図り、活力にあふれた町産業の育成、健康で心ふれあう福祉社会の推進、心豊かで創造性に富む文化社会の推進、快適でうるおいのある居住環境の整備。

新潟市との合併問題については、ホッパで町を建て直し、ステップで自らの目標を立て、ジャンプで理想的な都市建設を図り、審議機関を設けてアンケート調査を実施、主権在民の基本的立場を尊重致します。

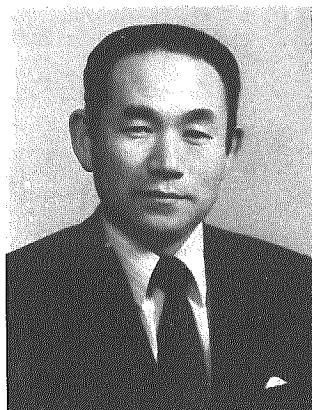
若い世代と共に未来を拓き、遠くない二十世紀、黒埼の町が、夢のある町、心豊かな町、住んで誇れる町、幸せ感のある町、希望に明けて感謝に暮れる町、そんなまちづくりを目指して公約実現に努力を致し、行政は一日たりとも停滞することなく渾身の努力を致し、なお、町議会とは車の両輪であり対応はより密接なものにして町挙げての魅力ある町づくりを目指します。

最後に厳しかった選挙をかえりみて、不信を信頼に、対立を協調へと努力を致し、子供達そして町民総てがどこへいても胸を張って、黒埼と名のられる町にしようではありませんか。

何分にも浅学菲才未熟者の私であります、今後とも一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、黒埼町の飛躍的發展と町民各位のご多幸を心からお祈り申し上げます。就任のごあいさつといたします。

退任のあいさつ

前町長 青木 太一郎



変化と激動の昭和から輝かしい平成時代へのスタートを切った陽春の候、皆様には益々御健祥のこととお慶び申し上げます。

先般の町長選挙には心温まる御支援と御協力を賜りながら、御期待に添え得なかったことを先ずもって、心から深くお詫び申し上げる次第であります。これすべて私の不徳の致すところと厳肅に受けとめ、心静かに反省の日々を送っているところでございます。

省みればこの四年間、只一堂の夢の場面のような氣も致しますが、この夢を一つ一つ紐解くと走馬灯のような思い出が去来するのも事実でございます。

胸を締めつけられるような責任感を背負って初登庁した日以来四年間、黒埼町

の發展と町の皆様方のよりよい幸せの為に何をなすべきか、私の身をいかに処すべきかだけを常に考え、馬車馬のように走り続けて参りました。

仕事をすることだけが、町民の皆様方の御期待と信頼に報いることのできる道と信じ、一意専心ひたすら努めてまいりましたことだけはご理解いただけたものと確信いたしております。

偽りのない明るく公正な町政の執行を基本に、二十一世紀をめざして躍進する黒埼町發展のために、国や県とのパイプづくりに苦勞を重ねながら、補助事業の獲得にもそれなりの成果を納め、今後の町政發展への展望を開くことができたものと考えております。

都市下水路、立仏十四号線高速道下ボックス開設、大野町消雪パイプ、新幹線側道踏切、民活導入の防犯灯、山田小増築等各小中学校の増改築、緒立の史料館の展示館、木場・黒鳥保育園の新築、福祉バスの購入等、思い出に残る悔いのない仕事をさせていただきました。この間に寄せられた町民の皆様方の御理解と御支援に新めて心から感謝申し上げます。選挙の結果は民主主義のルールでござ

います。町民の皆様方の審判は誠の心をもつて受けとめておりますが、この際どうしても明らかにさせていただきたいことだけは申し上げたいのであります。紙面の制約もあり結論だけしか申せないのは残念ですが、後日の機会に詳しく申し上げます。

また、ウオロクから政経会への政治献金であります。町長によりしくという金では絶対にあります。たまたま政経会への献金が私への誹謗に利用され、今回の選挙にまで影を落としたことは無念というほかありませんでした。

次に県議選の問題も同様です。何故、私が同志を裏切つてまで警察に通報する必要があるのでしょうか。このような同志を裏切る行為は、私自身が人間として最も恥ずべきこととしている心の信条です。青木太一郎は断じて自分の良心を裏切つてはおりません。

職員採用で数百万円持つてくるように言っただの演説も全くの作りごとです。このような作り話が、何故一部の町民の皆様さん方に本当のことと思われたのでしょうか。私にはどうしても理解できませ

ん。この他にも限らない程の中傷やデマが飛び交ったことは皆様方ご承知のとおりであります。

このようなことを申し上げると、今更何の弁解をするのか、とお考えの方もあらうかと思いますが、政治の道を志す前に人間として在るべき姿を求めるべきであると心に誓っている私にとっては、いわれなく作りあげられた虚像だけは、打ち砕き本当の実像を御理解していただくことは、当選・落選より以上に大切な心の問題であることをどうしても知っていたきたいのであります。

浅妻町政がスタートいたしました。私も町民の一人として御協力申し上げる決意でございます。特に政令都市をめざした新潟市との合併、観光の拠点施設として軌道に乗った県観光物産センターの誘致、高速道路から白根・新潟・亀田・横越・豊栄を結ぶ新潟大外環状線の拠点となる黒埼南インターの設置等、黒埼町發展のために欠くことのできない大事業の実現に、絶大な御努力をお願いしたいのであります。

私もまた踏まれても踏みつけられてもむつくり起き上がる男の魂を心に秘めながら、再び町政發展のために皆様方の御期待に添うべく捲土重来を期して頑張りたいと念じております。

町民の皆様方の一層の変わらぬ御理解と御支援を伏してお願ひ申し上げます、退任の御挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。